

山形県広報誌県民のあゆみ令和4年5月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和4年5月号 第627号

県民のあゆみ5月号

県民の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症関連情報（2ページ）

特集 令和4年度当初予算について（4ページ）

奏であう人 山形から世界に挑戦（8ページ）

潜入レポート！ やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）（16ページ）

表紙写真キャプション

文化財の保存・修復に携わる皆さん。山形県では、今年3月に山形県文化財保存活用大綱を策定し、文化財を確実に次世代へ継承するために、保存と活用の好循環につながる取組みを進めています。（撮影協力：東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター）

（注釈）撮影時のみマスクをはずしています。

<2から3ページ>

タイトル

ウィズコロナ・ポストコロナの県づくりに向けて

感染力が極めて強いオミクロン株が猛威を振るう中、県民の皆さま、事業者の皆さまには、感染防止対策の徹底にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

新型コロナは、未だ収束が見通せない状況ですが、ワクチン接種も進み、今後は感染防止対策をしっかりと講じて、県民の皆さまの命と健康を守りつつ経済活動も両立させて、山形県の元気を取り戻していく必要があると思います。

コロナ禍にあっても、県政最大の課題である人口減少や少子高齢化は依然として進行しています。急速に進むデジタル化への対応とデジタル人材の育成は急務です。SDGsの実現や脱炭素社会を目指してのカーボンニュートラルなども、しっかりと前に進めなければなりません。

県では、そのために、しあわせ子育て政策課内に「山形わくわく体験支援室」を新設したり、産業労働部の全課を再編するなど、新しい組織体制を整えたところです。

今年は、「やまがた紅王」がプレデビューしますし、8月には第6回「山の日」全国大会が蔵王を主会場に開催される予定です。また、「米沢トンネル（仮称）」整備の早期事業化に向けたJR東日本との共同調査も進めることとしております。

新型コロナをはじめ、年々激甚化・頻発化する自然災害、ロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮によるミサイル発射といった国際情勢など、不透明な時代ではありますが、こういう時代だからこそ私たち一人ひとりの持てる力を最大限に発揮して、希望と活力に満ちた山形県を創っていき

たいと考えているところです。

山形県知事 吉村美栄子

新型コロナ対策認証店 4,000 件突破！

県から感染防止対策の認証を受けた施設が 4,050 件（注釈）となりました。ぜひ認証店で、安全・安心に会食や宿泊をお楽しみください。なお、会食の際も、会話する時は不織布マスクを正しく着用し、お店が取り組む感染防止対策に、ご理解とご協力をお願いいたします。

（注釈）3月31日時点（飲食業：3,608件、宿泊業：442件）

認証を取得したお店、利用者の声

店側の自己申告ではなく、県の確認を受けた感染防止対策を行っていることが、お客様の安心感につながっていると思います。

席にはパーティションがあり、しっかり換気もされていました。店員さんの対応も感染防止対策を意識されていたので、安心して食事を楽しむことができました。

認証店はこちら

<https://8132507d.viewer.kintoneapp.com/public/f00000921503399ce5e5f17ed81376cb78ca3c475a4aee7377608ca16b7a8397#/>

コロナ禍で苦境に立つ中小企業を応援します！

低利融資で事業継続を支援

NEW ウィズコロナ対応借換資金

<融資の対象・目的>

既往債務（県制度資金）の借換を可能とする資金

<利率（年）>

2.0 パーセント

<限度額>

6,000 万円

<期間>

10 年以内 うち据置 2 年以内

地域経済変動対策資金（新型コロナ）

<融資の対象・目的>

低利子・無保証料（注釈）による運転資金

（注釈）セーフティネット保証利用の場合

<利率（年）>

1.6 パーセント

<限度額>

5,000 万円

<期間>

10 年以内 うち据置 2 年以内

各種補助金

1 中小企業パワーアップ補助金

ポストコロナに向けて行う、新製品や新技術の開発、デジタル化や脱炭素化に向けた設備投資、新分野展開や事業・業種転換など経営力強化につながる取組みが対象です。

<イノベーション創出>

補助額 2分の1

上限額 400万円

<新事業転換促進>

補助額 3分の2（4分の3）

上限額 100万円

<経営強靱化>

補助額 2分の1（3分の2）

上限額 100万円

<地域商社型販路開拓>

補助額 約250万円

（注釈）（ ）内は新型コロナ対策認証施設の補助率

2 外国人技能実習生等の受入時の宿泊費用への助成

政府の水際対策に対応するため、技能実習生等の宿泊費用を負担した場合にご活用ください。

<補助額>

宿泊者1人上限1日5,000円。最大75,000円（15泊分）

<対象期間>

令和4年3月1日から12月31日

詳細はこちら

https://www.pref.yamagata.jp/110009/sangyo/rodo/jigyosha/gaikokujin_ukeireshien.html

問い合わせ

認証制度：新型コロナ対策認証事務局 電話番号 0570-023-009

融資制度：商業振興・経営支援課 電話番号 023-630-2359

パワーアップ補助金：商業振興・経営支援課 電話番号 023-630-2354

宿泊費助成：雇用・産業人材育成課 電話番号 023-630-2375

タイトル **県政できごとアラカルト** こんなことがありました

1) 「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けて

カーボンニュートラルラッピング電気自動車お披露目式（令和4年3月9日、山形市）

県では、2050年までに二酸化炭素排出の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」を令和2年8月に宣言し、実現に向けて取り組んでいます。その一環として、カーボンニュートラルに対する県民の認知度向上と理解促進を図るため、新しく導入した電気自動車5台にカーボンニュ

ートラルを直感的に理解できるようなラッピングを施し、お披露目式を行いました。デザインとキャッチコピーは、若者ならではの視点や感性を取り入れるため東北芸術工科大学に制作を依頼しました。式には、制作者である同大学デザイン工学部の吉村多恵（よしむらたえ）さんと片田日菜子（かただひなこ）さんが出席し、さくらんぼをCO₂（二酸化炭素）に見立てたデザインと、キャッチコピー「グリーンでクリーンな未来」に込めた思いをお話しいただきました。このラッピング公用車は、県庁及び4総合支庁に配置され、公務に活用しながら県内各地でカーボンニュートラルのPRを図っていきます。

写真キャプション デザイン担当の吉村さん（左）とキャッチコピーを担当した片田さん（右）

2) 希望と感動をありがとう、さらなる飛躍を！

山形県スポーツ賞授賞式（令和4年3月28日、山形市）

本県スポーツの普及とその向上を図ることを目的として、競技スポーツで優秀な成績を収めた方や本県の生涯スポーツ振興に寄与した方をたたえる山形県スポーツ賞に、新たに54人3団体が選定されました。オリンピック・パラリンピックでのメダル獲得者、複数入賞者に贈られるスポーツ大賞には、昨夏の東京2020パラリンピックで顕著な成績を残した東海林大（とうかいりんだい）選手と齋藤元希（さいとうげんき）選手、北京冬季五輪で銅メダルを獲得した森重航（もりしげわたる）選手が選ばれました。

北京大会の興奮冷めやらぬこの日の授賞式には、森重選手のほか、同じく北京大会スケート種目代表選手として、スポーツ大賞に次ぐスポーツ栄光賞に選ばれた一戸誠太郎（いちのへせいたろう）・小田卓朗（おだたくろう）・小坂凜（こさかりん）の3選手が出席。吉村知事が「皆さんは山形県の誇りです。たくさんの元気と活力をもらいました。これからも県民皆で応援していきます。」と受賞者の偉業をたたえました。スポーツ賞を受賞された皆さんのさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

写真キャプション 左から小坂選手、小田選手、吉村知事、森重選手、一戸選手

<4から7ページ>

タイトル

コロナ克服・やまがた新生予算

令和4年度は、「第4次山形県総合発展計画」の基本目標である「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形」の実現に向け、「令和4年度 県政運営の基本的考え方」の5つの視点を重視しながら、ウィズコロナ・ポストコロナの県づくりを推進するための予算を編成しました。

【予算規模】

令和4年度一般会計当初予算は、総額6848億円となり、前年度当初予算から約25億円増と4年連続で前年度を上回る予算となりました。

【歳入予算】

自主財源のうち県税については、法人事業税や個人県民税の増収が見込まれることから、全体で1118億円となり、対前年度当初予算比で7.0パーセント増の見込みです。繰入金は調整基金の取崩しの増加などに伴い、同じく23.4パーセントの増を見込んでいます。依存財源のうち地方交付税は1779億円と前年度比0.4パーセントの増。県債は、政府の地方財政計画において臨時財政対策債が大幅に減少しており、本県においても減少が見込まれることから前年度比26.3パーセントの減となります。

【県債残高の見込み】

今年度末の県債残高の見込みは、1兆1811億円となり、前年度の同時期と比べて、約298億円の減少を見込んでいます。

また、財政健全化の目標として掲げている臨時財政対策債と補正予算債等並びに災害復旧事業債を除いた実質的な県債残高は今年度末見込みで6502億円となり、前年度の同時期と比べて110億円減少する見込みです。

【調整基金の残高】

調整基金については、今回の予算編成において、約195億円を取り崩すこととしたことから、今年度末における残高は約217億円と見込んでいます。

令和4年度当初予算（一般会計）の概要

歳入 6,848 億円

自主財源 3,413 億円 (49.8 パーセント) / 依存財源 3,435 億円 (50.2 パーセント) / 県税 1,118 億円 (16.3 パーセント) / 諸収入 1,382 億円 (20.2 パーセント) / 繰入金 269 億円 (3.9 パーセント) / その他・自主財源 645 億円 (9.4 パーセント) / 地方交付税 1,779 億円 (26.0 パーセント) / 県債 533 億円 (7.8 パーセント) / 国庫支出金 903 億円 (13.2 パーセント) / その他・依存財源 221 億円 (3.2 パーセント)

歳出 6,848 億円

商工費 1,236 億円 (18.0 パーセント) / 教育費 1,105 億円 (16.1 パーセント) / 公債費 882 億円 (12.9 パーセント) / 民生費 827 億円 (12.1 パーセント) / 土木費 584 億円 (8.5 パーセント) / 衛生費 453 億円 (6.6 パーセント) / 農林水産業費 400 億円 (5.8 パーセント) / 総務費 316 億円 (4.6 パーセント) / 警察費 270 億円 (3.9 パーセント) / その他 775 億円 (11.3 パーセント)

用語解説

【歳入】

地方交付税 自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金

県債 災害対応や道路整備・学校を建てるなどの目的で県が借りるお金

国庫支出金 農地の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金

自主財源 県税など、県が自ら収入する財源

依存財源 国から交付されたり、割り当てられたりする財源

【歳出】

公債費 県債返済などに使うお金

民生費 生活保護などの社会保障のためのお金

衛生費 医療や健康増進、環境保全などのためのお金

視点1

「子育てするなら山形県」の実現

【施策の方向性】

- 安心して子育てできる環境の整備
- 質の高い教育環境の整備
- 若者・女性の就業環境の整備と女性の賃金向上
- 地域資源を活用した移住・定住の促進、関係人口の拡大
- 文化芸術・スポーツに親しむ環境づくり

【主要な事業】

<東北初>

私立高校等の授業料軽減支援 29億9千2百万円

年収（注釈1）約590万円以上910万円未満の世帯の支援額を拡充するとともに、新たに年収約910万円以上の多子世帯（注釈2）への支援制度を創設します。

（注釈1）世帯年収は、中学生1人、高校生1人の4人世帯の場合の目安

（注釈2）扶養する23歳未満の子が私立高校生を含め3人以上いる世帯

<全国初>

特定不妊治療の自己負担額への支援 1億1千3百万円

今年4月から特定不妊治療に医療保険が適用されたことに伴って生じる医療費の自己負担の一部を助成します。

<NEW>

保育、幼児教育、看護、介護等の現場で働く方々の処遇改善 19億3千万円（注釈）

新型コロナと少子高齢化の双方に対応する現場で働く方々の処遇改善を図るため、賃金引上げへの支援を行います。

<NEW>

ふるさとの魅力を再発見 1千4百万円

山形の未来を担う子どもたちに、自然や文化、伝統技術などの本県の魅力ある多様な地域資源を体験・学習してもらうことでふるさとへの理解を深め、郷土愛の醸成につなげます。

写真キャプション 子どもは社会の宝、未来への希望

（注釈）令和3年度2月補正予算額を含めた額

視点2

「健康長寿日本一」の実現

【施策の方向性】

- 新しい生活様式にも対応した健康づくり・予防医療の促進
- 新型コロナへの対応強化やデジタル技術の活用など安定的な医療・介護提供体制の確保
- 障がい者等の就労や多様な社会参加の促進

【主要な事業】

新型コロナウイルス対策 219億5千1百万円

新型コロナ患者等が入院するために病床を確保した医療機関に対する空床補償、軽症者等の宿泊療養施設の確保、感染拡大傾向時における無料PCR等検査の実施など、引き続き、新型コロナ対策にしっかり取り組んでいきます。

<NEW>

ウォーキングプロジェクト 1千2百万円

山形県民は通勤・買い物等で車を使うことが多く、コロナ禍で運動する機会も減少していることから、「コロナに負けない身体づくり」推進のためウォーキング大会等を行います。

<NEW>

医療的ケア児支援センター 1千7百万円

医療的ケアが必要な子どもと、その家族が安心して暮らせるように、山形大学医学部附属病院内に「医療的ケア児支援センター」を開設し、専門的な相談体制や関係機関との連絡調整機能を強化します。

<NEW>

障がい者の工賃向上 2千5百万円

障がい者の工賃向上を図るため、「共同受注センター」を設置し、障がい者就労事業所との取引を斡旋・紹介するとともに、事業所と企業の多様な連携・協力を促進する「ふれあいパートナーシップ企業」制度を創設します。

写真キャプション 楽しく歩いて健康づくり！

視点3

県民幸せデジタル化

【施策の方向性】

- すべての県民がデジタル化の恩恵を受けられる社会づくり
- 住民の利便性向上を最優先したデジタル化の推進
- 産業分野におけるデジタル化の加速

【主要な事業】

<全国初>

マイナンバーカードの取得を促進 1億9百万円

政府が今年度中にほぼ全国民への交付を目指しているマイナンバーカードの取得促進に向けた取り組みとして、複数市町村の連携による出張申請受付や、市町村の住民票等のコンビニ交付サービ

導入に伴う費用の一部を支援します。

<NEW>

結婚支援の強化 2千9百万円

総合的な結婚支援事業を展開している「やまがたハッピーサポートセンター」にAIマッチングシステムを導入し、AIがおすすめの方を紹介する機能を追加するなど、出会いの機会を拡大するとともに、伴走型支援を行います。

<NEW>

ものづくり分野の生産性向上 8千7百万円

ものづくり分野の生産現場において、デジタル技術やロボットの導入により、生産性向上を実現する人材を育成するため、県内企業の在職者等を対象とした研修を行います。

<NEW>

道路の維持管理の効率化に向けた検証 2千万円

県管理道路の維持管理にAIを活用し、人間の目では判断しづらい路面や斜面の大きな損傷につながる箇所を効率的に抽出するための調査・検証を行います。

写真キャプション 労働生産性の向上に寄与するロボット

視点4

「一人当たり県民所得」の向上

【施策の方向性】

- 先端技術やビジネス関係人口の活用等による産業構造の転換
- スタートアップ支援等による雇用の創出
- 農林業をけん引する高度な人材の育成
- 全国に誇る「果樹王国やまがた」の再生・強靱化
- カーボンニュートラルに貢献する「森林（モリ）ノミクス」の加速
- 水産業の成長産業化と漁業人材の育成
- マイクロツーリズムやワーケーションをはじめとする新たな観光需要への対応など観光・交流の拡大

【主要な事業】

<NEW>

次世代自動車関連分野への参入促進 1千1百万円

新たな市場獲得を目指し、県内企業の次世代自動車関連分野への参入を促進するため、専門家を配置して推進体制を構築するとともに、工業技術センターとの共同研究により県内企業の新製品開発を支援します。

<全国初>

地域課題解決型ビジネスの創出 3千万円

本県の新たな創業支援拠点「スタートアップステーション・ジョージ山形」を活用し、産学官民の多様な強みやノウハウを持ち寄り、地域課題の解決に当たるビジネスの創出を促進します。

<NEW>

ポストコロナに向けた観光誘客の復活 4千1百万円

観光カリスマ等のアドバイザーを招聘し、観光人材を育成するとともに、SDGsなどの新たな視点を取り入れた旅行商品の造成や販売プロモーションにより、観光誘客を図ります。

<全国初>

果樹王国やまがた再生への支援 6億1千万円（注釈）

新たな担い手の参入等に向けたJAや農業法人等が行う先行投資型果樹団地の整備や、さくらんぼの安定出荷・品質向上に向けたやまがた紅王・紅秀峰の大苗導入等への支援を戦略的に展開していきます。

写真キャプション 「やまがた紅王」今年6月プレデビュー

視点5

やまがた強靱化

【施策の方向性】

- 流域治水などソフト・ハード両面における防災力の強化
- 地方分散等を見据えた交通ネットワークの整備や利活用の促進、新たな交通需要の創出
- 地域公共交通の利便性向上
- カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの推進

【主要な事業】

治水対策の推進 128億6千2百万円（注釈）

令和2年7月豪雨等を踏まえた最上川等の治水対策に引き続き取り組むとともに、河川の流下能力を向上させるため、支障木の伐採や堆積土砂の撤去に加え、新たに土砂がたまりにくくする対策を取り入れ、水害リスクの軽減を図ります。

庄内沿岸エリアの活性化 2千7百万円

洋上風力発電の導入に向けた協議を進めるとともに、酒田港の基地港湾化を目指し、調査・検討を行います。

<NEW>

カーボンニュートラルの推進 1億2千5百万円

令和2年8月に宣言した「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向け、県民への普及啓発など機運醸成を図る県民運動を展開するとともに、高断熱・高气密住宅と再生可能エネルギー設備を組み合わせた住宅の建築を支援します。

米沢トンネル（仮称）整備の早期事業化へ 2千8百万円

本県の未来を拓く山形新幹線「米沢トンネル（仮称）」の早期事業化に向け、機運醸成や要望活動、山形新幹線の沿線活性化の取組み等を推進するとともに、具体的なルート検討を進めるため、JR東日本との共同調査を実施します。

写真キャプション 山形新幹線「米沢トンネル（仮称）」のイメージ

<8 から 9 ページ>

タイトル **奏であう人** ポリ्यूーム 65

撮影場所 山形大学小白川キャンパス

キーワード **山形から世界に挑戦**

山形の自然と山を愛し、世界の高峰に挑み続ける飯澤さん、約 30 年にわたりナスカ地上絵の研究・保護に努める坂井さん。

山形を拠点に世界へ挑むお二人にお話をお聞きしました。

飯澤 政人（いざわ まさと）さん（東根市）

昭和 60 年生まれ。天童市出身、東根市在住。登山ガイド、山岳フォトグラファー。20 歳から登山を始め、2018 年、東北 6 県や新潟県のメンバーで組織する「北日本海外登山研究会」の隊員として K2（8611 メートル）登頂に挑戦し、山形県人として初めて成功。2021 年にはヒマラヤの鋭鋒アマ・ダブラム（6812 メートル）初挑戦で登頂を果たす。その様子を撮影したドキュメンタリー番組を制作し、冒険家としての新境地を開く。

写真キャプション 山登りを始めてから 11 年後の 2018 年 7 月 22 日、K2 登頂を果たした瞬間。達成感以上に、家族や友人たちが待つ山形へ「やっと帰れる」という思いが強かったという。同時に「この絶景と感動を多くの人に伝えたい」と感じ、アマ・ダブラムでのドキュメント映像制作につながった。

坂井 正人（さかい まさと）さん（山形市）

昭和 38 年生まれ。千葉県出身、山形市在住。山形大学人文社会科学部教授、専門は文化人類学・アンデス考古学。東京大学大学院在学中にペルー共和国ナスカ台地の地上絵研究を始める。2004 年から山形大学で発足した「ナスカ地上絵プロジェクトチーム」の中心を担う。以後、新しい地上絵を次々と発見。2012 年にナスカ市に開設した「ナスカ研究所」の副所長を兼務し、地上絵の調査・研究、保護・活用、教育に努める。

写真キャプション ペルー共和国ナスカ市に、2012 年に開所した「山形大学ナスカ研究所」。ペルー文化省と地上絵の学術研究と保護に関する特別協定を締結している。現在、ナスカ台地の地上絵調査を許可されているのは、世界で山形大学のみ。ほぼ毎年、渡航して現地調査を行うとともに、近年は AI やドローンを活用した研究を進めている。

自分の生き方を決めるライフワークとの出会い

標高世界第2位のK2に続き、アマ・ダブラムへの登頂を果たした飯澤さん。そのきっかけは、地元天童の里山、水晶山（668メートル）だったと言います。

「山野草の撮影が目的で登ったのですが、山頂に着いたときの達成感、広がる眺望に魅せられ山のとりこになりました。同時に、いつかは世界へという夢が芽生えました」。

それ以来、冬山を含め、国内の山々を登ってトレーニングを重ね、技術を磨いていったそうです。

「山が自分を成長させてくれると感じ、まるで憑かれたかのように山に登りたいの一心でした。K2登頂も、失敗しても3回は挑戦するつもりでした。行かない、諦めるという選択肢はありませんでした」。

坂井さんは、飯澤さんの一途さに共感してこう応えます。

「何かを始めるきっかけは、思い付きや、たまたまなどいくつもありますが、これだと決めたらずっと継続できるかどうかが大事です。そういう点では、私も似ています」。

坂井さんのナスカ地上絵との本格的な出会いは1993年。当時、地上絵の保護活動の第一人者だったドイツのマリア・ライへさんに協力してもらい、地上絵に関する予備調査を実施したことが始まりでした。

「ナスカ台地は、東西20キロメートル×南北15キロメートルと広大で、全体を把握する調査が困難なため、地上絵の分布状況が十分に解明されていませんでした。山形大学の研究チームが2004年から画像分析と現地調査によって、動物や植物などの具象的な地上絵を190点発見しました」。

地上絵や山を通して、人やその営みに触れる

坂井さんが言葉を続けます。

「新発見ばかりが話題になりますが、見つけることが目的ではありません。地上絵がいつ作られ、どのような目的で利用されたのかについて明らかにするとともに、当時はどのような自然環境であったのかについて考察することに関心があります。

また、文字を持たなかったアンデス文明において、コミュニケーション手段の一つだったと考えられる地上絵は、その種類や作られ方で当時の信仰や農耕のあり方、人々の価値観や暮らしを知ることができます。

これらが、ナスカ地上絵に魅了され続けている理由です」。

飯澤さんもまた、海外遠征時に現地でお世話になったシェルパ（注釈）との交流を通して、そこに暮らす人々への思いが強くなったと話します。

「今回、アマ・ダブラム登頂を決行したのは、コロナ禍で仕事が激減している現地エージェントやスタッフの方々に、少しでも収入をと考えたからです。もちろん、出国・入国手続きなど大変でしたし、感染対策にも苦心しましたが、コロナに限らず災害や障害はいつだって起こり得ます。困難があるからといってひるんでいては何もできない、そんな思いでした」。

来年夏には、世界一美しいとされるペルーのアルパマヨ山から、スイスのマッターホルン、アイガーを回るグループ登山を計画。自然景観や登山の様子だけでなく、その土地の人々と触れ合いなども、写真を通して多くの人に伝えたいと話します。

（注釈）「シェルパ」とは、ネパールの少数民族の一つ。同時に、ヒマラヤの山々で荷物運びや案内人（登山ガイド）を生業としている人々を指す言葉。

冒険や研究の拠点として山形は大切な場所

飯澤さんは、生きて帰りたいと強く思える故郷があるから、難関に挑むことができると強調します。「自分を育ててくれた山形の山には、穏やかさと優しさ、力強さが同居している感じがします。頑張るエネルギーを与えてくれる存在ですね」。

「それは、山形人の人柄そのものでもあるんでしょうね」と坂井さん。

「ペルー山形県人会の皆さんも、故郷をととても大切に思っていて、現地研究所の設立に尽力いただきました。また、私たちが長年にわたって研究に没頭できているのは、山形の豊かで充実した自然環境、生活環境があってこそだと思っています」。

「今年は8月に『山の日』全国大会が蔵王で開催されます。この機会に、山形の山の魅力を、感謝を込めて発信していきたいですね」と、飯澤さんが登山家らしく締めてくれました。

<10から11ページ>

タイトル **県議会だより** 第90号

キャプション 着物姿で伝統産業をPR

2月定例会の概要

令和4年2月定例会は、2月17日から3月17日までの29日間の会期で開催され、令和4年度一般会計予算案や令和3年度一般会計補正予算案などの知事提出議案を審議し、追加提案を含む65議案を可決しました。

令和4年度一般会計予算案については、3月11日、知事から「やまがたの農林水産物を活用した情報発信推進事業費」の事業内容を見直すため撤回したい旨の申出があり、同月15日の本会議で承認しました。その後、同事業を除いた予算案が再提出され、全会一致で可決しました。

また、3月16日には、「政治倫理の向上に向けた宣言」を総員起立をもって可決し、決意表明としました。

新 副議長が決まりました

副議長選挙が行われ、第67代副議長に加賀正和議員（尾花沢市・北村山郡選挙区）が選出されました。

写真キャプション 加賀正和 新副議長

2月定例会で質疑質問を行った議員

質疑質問の様子（動画）や会議録はこちらからご覧いただけます！

録画中継

<http://gikai.pref.yamagata.jp/YamagataPref/>

会議録検索システム（注釈 2月定例会分は6月以降に掲載予定）

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/prefyamagata/SpTop.html>

代表質問（2月25日）

自由民主党 田澤伸一議員 東田川郡選挙区

◆福島県境部の新トンネル整備の要望 など

県政クラブ 高橋啓介 議員 山形市選挙区

◆夜間中学の設置 など

一般質問（2月28日・3月1日）

自由民主党 相田光照 議員 米沢市選挙区

◆特別支援学校における就労支援 など

県政クラブ 高橋 淳 議員 鶴岡市選挙区

◆広域的な道路交通網の拡充と課題 など

自由民主党 五十嵐智洋 議員 長井市・西置賜郡選挙区

◆女性の正社員化 など

予算特別委員会（3月3・4・7日）

自由民主党 遠藤寛明 議員 上山市選挙区

◆河川のしゅんせつ等による安全安心の確保 など

県政クラブ 梅津庸成 議員 山形市選挙区

◆須川の治水対策 など

自由民主党 柴田正人 議員 南陽市選挙区

◆続・コロナから県民の生活を守り経済活動を取り戻す取組み など

自由民主党 森谷仙一郎 議員 天童市選挙区

◆持続できる果樹産地の形成 など

無所属 山科朝則 議員 新庄市選挙区

◆東北農林専門職大学（仮称）と地域の高校との連携 など

自由民主党 楳津博士 議員 寒河江市・西村山郡選挙区

◆本県における10代介護者（ヤングケアラー）の把握と支援 など

県政クラブ 石黒 覚 議員 酒田市・飽海郡選挙区

◆東北公益文科大学の公立化及び機能強化の進め方 など

自由民主党 船山現人 議員 東置賜郡選挙区

◆山形県の農業教育の充実 など

令和3年度 議会政策提言

3つの特別委員会における一年間の調査・審査結果を踏まえ、県政発展に向けた政策提言を県議会の総意として取りまとめ、3月16日、坂本議長から知事に手渡しました。

調査・審議したテーマ

- 1 関係人口の創出・拡大と移住・定住に関する取組みの推進
- 2 デジタル技術の活用による、県民生活の利便性の向上と安全なまちづくり
- 3 医療提供体制と地域包括ケアシステムの構築
- 4 次世代人材育成等と女性若者の定着・回帰に向けた取組みの推進
- 5 県内生産物販売力の強化と観光をはじめとした多面的な活用
- 6 すべての県民が労働参加し活躍できる労働環境等の実現

詳しくはこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/gikaikatsudou/assemblypolicy/660000606-teigen-1.html>

政治倫理の向上と政務活動費の見直しを行いました

県議会では、元議員による政務活動費の不正受給事案を受け、倫理・制度の両面で改善策の検討を行ってきました。2月定例会において「政治倫理の向上に向けた宣言」を決議するとともに、政務活動費に関する条例等の改正を行いました。

写真キャプション 検討結果を議長に報告

詳しくはこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/gikaikatsudou/kengikai/topics/r03topics.html>

新型コロナに関する研修会を開催

3月7日、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会において、山形大学医学部附属病院検査部部长森兼啓太氏より、県内における新型コロナ第6波の状況やワクチン接種等についてお聞きしました。

郷土Yamagataふるさと探究コンテスト受賞校の作品を展示しました

県議会ギャラリーでは、2月定例会期間中、「郷土Yamagataふるさと探究コンテスト（県教育委員会主催）」で「ふるさと探究大賞」を受賞した学校の取組みをパネル等で展示しました。

天童市立寺津小学校

最上町立最上中学校

県立置賜農業高等学校

コンテストの詳細はこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/700001/bunkyo/kyoiku/syakaikyoyuiku/hurusatotannkyuu.html>

2月定例会で採択された請願

令和4年1月27日発令のまん延防止等重点措置に伴う、運転代行業者の事業継続への支援について

2月定例会で可決された決議

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

政治倫理の向上に向けた宣言

2月定例会で可決された意見書

豪雪災害に対する支援の拡充を求める意見書

世界平和実現のための外交の強化と国民の平穏な生活を守るために必要な対策を求める意見書

ロシアのウクライナ侵略に伴う国民生活と経済への影響の抑制を求める意見書

地方への移住・定住の促進に向けた取組みの強化を求める意見書

地域医療を担う医師の確保に向けた対策を求める意見書

外国人材の円滑な受入れに向けた環境の整備等を求める意見書

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/gikaikatsudou/ikensyo-ketugi/ikensyo-ketugi.html>

県議会の情報は、山形県議会ホームページに満載です。ぜひご覧ください!!

山形県議会ホームページはこちら <https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

- 1 定例会の概要や議会の日程
- 2 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- 3 可決した意見書・決議の内容
- 4 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- 5 会派ごとの議案等に対する賛否状況など

問い合わせ 編集発行／県議会事務局議事調査課電話番号 023-630-2846

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

<12 から 13 ページ>

タイトル **持続可能な「やまがた」の実現に向けて**

県民みんなで取り組むSDGs

SDGs（エスディージーズ）とは何か、私たちにどのような関わりがあるのか。県の取組みと併せてご紹介します。

私たちができることについて、一緒に考えてみませんか。

SDGsってなに？

地球で暮らし続けるために、2030年までに達成すべき目標

SDGsとは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)の略称です。今、世界は、貧困や不平等・格差、差別、紛争、食料・エネルギー不足、気候変動など数多くの問題に直面しています。

これらの問題を解決し、「誰一人取り残されることのない」持続可能でより良い社会の実現を目指すため、2030年までの世界共通の目標として、17のゴールが設定されました。

一人ひとりの行動が、目標達成のカギ

SDGsは、私たちの生活、身の回りのこととつながっています。国(政府)だけでなく、自治体や企業・団体、そして私たち一人ひとりが、みんなで力を合わせて取り組んでいくことが求められており、それぞれの立場で、目標達成に向けた行動を起こすことが大切です。

私たちや、その子ども、孫の世代が、安定した豊かな暮らしを続けていくため、日々の生活の身近な取組みから始めてみませんか。一人ひとりの意識と行動を変えることが、SDGsの達成につながり、未来の地球をつくります。

山形県の取組み

総合計画への位置づけ

令和2年度にスタートした第4次山形県総合発展計画で掲げる「県民一人ひとりの希望を実現して、真の豊かさ、生きがい・幸せを実感でき、持続的に発展する」県づくりは、SDGsの理念と一致するものです。この計画に示した施策の多くがSDGsの17のゴールと関連しており、その取組みを通して、SDGsの実現を目指しています。

写真キャプション 第4次山形県総合発展計画

庁内推進本部の設置

知事を本部長とする山形県SDGs推進本部を令和3年7月に設置しました。この推進本部のもと、庁内の情報共有と連携を図り、対外的な発信を強化していきます。

多様な関係機関との協力

令和2年8月、県・山形大学・山形新聞社の3者で、SDGsの推進に向け、互いに連携して行動していくことを宣言しました。

また、県内の企業・団体や市町村とのパートナーシップのもと、SDGsの周知啓発に取り組み、県民運動につなげていきます。

写真キャプション 共同宣言の様子

SDGsを知ろう！第1回

持続可能な「やまがた」に向けて

SDGsで掲げられている17のゴール(目標)その内容と私たちができる身近な取組み例を全6回シリーズで紹介していきます。

貧困をなくそう

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせよう。

＜関連する県の主な施策＞

子どもの居場所づくりに取り組む団体への支援

＜みんなで今日からできるSDGs＞

- ・子どもの貧困について考えてみよう
- ・募金や寄付、フードバンクの活動に参加しよう

飢餓をゼロに

全ての人々が栄養のある十分な食料を確保できるようにし、持続可能な農業を促進しよう。

＜関連する県の主な施策＞

農業経営安定化に向けた収入保険加入の促進

＜みんなで今日からできるSDGs＞

- ・食べ残しを減らそう
- ・消費(賞味)期限が近い食材から購入しよう
- ・県産農林水産物の地産地消を応援しよう

問い合わせ 企画調整課 電話番号 023-630-2896

詳しくは検索窓に「山形県SDGs」と入れてクリック。

県内おススメ文化・スポーツ情報

やまぎん県民ホールイベント情報

オフ・ブロードウェイ・ミュージカル「Forever Plaid/フォーエヴァー プラッド」

2013年、2016年と上演され、各地で好評を得た名作ミュージカルを山形初上演！1964年のアメリカが舞台。大スターになることを夢見てコーラスグループを結成した4人の奇跡の物語。

開演日時

6月7日（火曜日）午後6時30分

出演

川平慈英、長野博、松岡充、鈴木壮麻（ナレーション：ジョン・カビラ）

料金

S席 10,000円 A席 7,500円 B席 5,500円

芸工大×やまぎん県民ホール「GROUND WARE」

東北芸術工科大学芸術学部工芸・テキスタイルコースの学生による力作を展示します。

開催日時

6月22日（水曜日）から7月3日（日曜日）

会場

屋外イベント広場、1階ロビー

料金

無料

屋外イベント広場貸出しのご案内

山形駅徒歩1分の好立地！マルシェやキッチンカー、ポップアップイベント等に最適です。

面積

905㎡から1,840㎡（全3面）

料金

1日あたり9,000円から18,400円

問い合わせ やまぎん県民ホールチケットデスク 電話番号 023-664-2204（受付時間 水曜日から月曜日 10時から19時）

山形交響楽団定期演奏会情報

ユアタウンコンサート2022（村山公演）

開演日時

5月8日（日曜日）午後3時

出演

指揮：阪哲朗、村川千秋

ヴァイオリン：村川千尋

共演：楯岡中学校・葉山中学校吹奏楽部

演目

ベートーヴェン：交響曲第6番「田園」、スーザ：星条旗よ永遠なれ、サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ、ベートーヴェン：劇音楽「エグモント」 序曲

会場

村山市民会館（村山市）

前売券

全席指定 2,000円

第301回定期演奏会

開演日時

6月18日（土曜日）午後7時

6月19日（日曜日）午後3時

出演

指揮：阪哲朗、ヴァイオリン：神尾真由子

演目

木島由美子：山響創立50周年記念委嘱作品（世界初演）、ラロ：スペイン交響曲 ほか

会場

山形テルサ（山形市）

前売券

A席 4,800円 ほか

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

開催日時

5月1日（日曜日）午後2時

対戦チーム

V・ファーレン長崎

開催日時

5月8日（日曜日）午後2時

対戦チーム

大分トリニータ

開催日時

5月25日（水曜日）午後7時

対戦チーム

レノファ山口FC

開催日時

6月5日（日曜日）午後2時

対戦チーム

FC琉球

開催日時

6月18日（土曜日）午後7時

対戦チーム

ヴァンフォーレ甲府

会場 NDソフトスタジアム山形（天童市）

詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック。

問い合わせ 文化スポーツ振興課 電話番号 023-630-2903（山響）電話番号 023-630-3156（プロスポーツ）

注釈 3月31日時点の情報です。新型コロナの影響で変更となる場合がありますので、事前に問い合わせ先にご確認ください。

旬のやまがた美食レシピ

これからが旬、山の恵み

ねまがりたけ

ねまがりたけ（月山筍）は高山性のササの仲間で、根本付近が弓状に曲がることから、その名前がつけました。以前は月山の山奥まで入って採っていましたが、約30年前から中山間地の集落近くの傾斜地を利用して栽培されるようになりました。産地の西村山地域では、山採りのものを「月

山筍」、栽培ものを「ねまがりたけ」と呼んで区別しています。その特長は、柔らかくコリコリとした歯ごたえと、コクのある旨味。あく抜きせずに使える手軽さから、天ぷら、煮物、蒸し焼き、味噌汁など、さまざまな料理が楽しめます。今回は香りと食感を楽しむレシピをご紹介します。

ねまがりたけの炊き込みご飯

材料（4から5名分）

米3合、ねまがりたけ10本、A（しょう油大さじ3、酒・みりん各大さじ1、だし汁1カップ）

作り方

- 1 米は炊く30分前にといで水に浸す。
- 2 ねまがりたけは皮をむき、根本と節の固い部分を取り除く。穂先の柔らかい部分を斜め薄切りに、節は小口切りにする。
- 3 鍋に2とAを加えて柔らかくなるまで煮る。
- 4 炊飯釜に水切りした1の米と3の煮汁を入れ、水を加えて3合の目盛りに合わせ、その上に具をのせて炊く。
- 5 炊きあがったら、かき混ぜ、蒸らして完成。

詳しくは検索窓に「やまがた野菜」と入れてクリック。

問い合わせ 村山総合支庁地域産業経済課 電話番号 023-621-8447

<14から15ページ>

タイトル おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和4年3月1日現在

人口総数 1,049,620人（前月比マイナス1,167人）

世帯数 398,785（前月比マイナス310世帯）

注釈 3月31日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響で変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

【試験】

山形県職員採用試験

今年度の山形県職員採用試験を、以下のとおり実施する予定です。

<試験名>大学卒業程度

<申込受付期間>4月28日（金曜日）から5月25日（水曜日）

<第1次試験日>6月19日（日曜日）

<試験名>短大・高校卒業程度市町村立学校事務職員

<申込受付期間>8月5日（金曜日）から9月2日（金曜日）

＜第 1 次試験日＞ 9 月 25 日（日曜日）

＜試験名＞ 警察官 A

＜申込受付期間＞ 4 月 19 日（火曜日）から 6 月 13 日（月曜日）

＜第 1 次試験日＞ 7 月 10 日（日曜日）

＜試験名＞ 警察官 B

＜申込受付期間＞ 7 月 15 日（金曜日）から 8 月 29 日（月曜日）

＜第 1 次試験日＞ 9 月 18 日（日曜日）

◆受験案内配布開始日

大学卒業程度 4 月 28 日（木曜日）

短大・高校卒業程度 8 月 5 日（金曜日）

市町村立学校事務職員 8 月 5 日（金曜日）

警察官 A、警察官 B 4 月 19 日（火曜日）

◆配布場所

県庁（1 階受付、15 階人事委員会事務局）、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所（東京・大阪・名古屋）

（注釈）県ホームページからもダウンロードできます。

問い合わせ 人事委員会事務局 電話番号 023-630-2782

山形県公立学校教員選考試験

今年度の山形県公立学校教員選考試験（1 次試験）を、以下のとおり実施する予定です。

◆試験日 7 月 23 日（土曜日）

◆実施要項配布開始日 5 月 6 日（金曜日）

◆配布場所 県庁（1 階受付、13 階教育庁教職員課）、各教育事務所、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所（東京・大阪・名古屋）

問い合わせ 教育庁教職員課 電話番号 023-630-3406

山形県病院事業局職員選考試験（看護師）

今年度の県立病院の職員選考試験を、以下のとおり実施する予定です。

◆申込受付期間 5 月 30 日（月曜日）から 7 月 1 日（金曜日）

◆試験日 7 月 30 日（土曜日）、31 日（日曜日）

◆受験案内配布開始日 4 月 28 日（木）

◆配布場所 県庁（1 階受付、12 階県立病院課）、各県立病院、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所（東京・大阪・名古屋）

（注釈）県ホームページからもダウンロードできます。

問い合わせ 県立病院課 電話番号 023-630-2167

山形県調理師試験

今年度の調理師試験を、以下のとおり実施する予定です。

◆申込受付期間 6 月 3 日（金曜日）から 17 日（金曜日）

◆試験日 10 月 29 日（土曜日）

◆願書配布場所 各保健所生活衛生課（室）（注釈）山形市保健所を除く

問い合わせ 食品安全衛生課 電話番号 023-630-2621

【募集】

奨学金の返還を支援します！

やまがた就職促進奨学金返還支援事業

助成候補者募集

県では、学生やUターンを希望する社会人の皆さんが、県内に就業・定住した場合に、奨学金の返還を支援します。

<学生の方（大学・短大・専門学校等）>

◆やまがた若者定着枠 定員230名

◆産業人材確保枠 定員50名

◎募集時期：5月27日（金曜日）から6月30日（木曜日）

◎支援額：2万6千円×令和4年4月

以降の奨学金貸与月数（例 4年制大学の場合の最大支援額124万8千円）

<社会人の方（Uターン希望）>

◆Uターン促進枠 定員40名

◎募集時期：7月頃

◎支援額：県内居住・就業後3年の間に奨学金を返還した額（上限60万円）

各要件や申込方法などは県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/110001/bunkyo/wakamonoseishounen/wakamono/syogakukin/syogakukinhenkansien.html>

問い合わせ 産業創造振興課 電話番号 023-630-2691

さくらんぼ農家で働いてみませんか！

山形県を代表する農作物「さくらんぼ」は、収穫時における人手不足が深刻です。主産地のさくらんぼ農家では、作業を手伝ってくれるアルバイトを募集中です。1日単位で働いてみたい方には、農家と直接マッチングできるアプリ「daywork」がおすすめです。

◆作業期間 6月上旬から7月中旬

◆作業内容 収穫、選果、箱詰め等

◆申込方法 各JA無料職業紹介所またはハローワークにご相談ください。

また、アプリ「daywork」上で求職も可能です。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/140032/sangyo/nourinsuisangyou/nogyo/nousambutsu/sakurambo/roudouryoku.html>

詳しくは検索窓に「さくらんぼ労働力」と入れてクリック。

問い合わせ 園芸大国推進課 電話番号 023-630-2249

【お知らせ】

5月14日から20日はギャンブル等依存症問題啓発週間です

「ギャンブル等依存症」とは、ギャンブル等にのめり込み、やめたくてもやめられない、自分の力だけではコントロールできない状態のことです。ギャンブル等依存症により、健康問題、多重債務などの経済的問題、家庭問題など、日常生活または社会生活に支障が生じることがあります。ギャンブル等依存症は、適切な治療と支援により回復が可能です。相談窓口等については、県精神保健福祉センターのホームページをご覧ください。

ご家族からの相談も受け付けています。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/091013/kenfuku/shogai/iryo/hokenfukushicenter/seishinhokencenter.html>

問い合わせ 障がい福祉課 電話番号 023-630-2240

自動車税種別割の納期限は5月31日(火曜日)です

自動車税種別割は、お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアでの納付のほか、自宅等でのクレジットカードやスマートフォン決済アプリを利用した納付もできます。詳しくは県ホームページをご覧ください。

問い合わせ 税政課 電話番号 023-630-2068

5月は自転車月間です！

自転車は安全で適正に利用しましょう

近年、自転車は健康増進や観光での利用のほか、コロナ対策としても注目され、利用者の増加が見込まれています。その一方で、自転車事故による被害や、高額賠償事例が社会的な問題となっています。

県では、令和2年7月1日から、自転車損害賠償責任保険等への加入が義務となりました。自転車を利用する場合は自分や家族を守るためにも必ず保険に加入しましょう。また、ヘルメットの着用は大切な命を守ることにもつながります。大人も子どももみんなを着用しましょう。

県ホームページでは、自転車の安全利用について分かりやすく、楽しみながら理解できる自転車安全利用啓発動画「やまがた愛の自転車利用虎の巻」を公開しています。

ぜひご覧ください！

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/020070/bosai/kotsuanzen/jitenshajourei.html>

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023-630-2460

5月は消費者月間です

◆2022年統一テーマ

考えよう！大人になるとできること、気を付けること

18歳から大人に

県ホームページ「18歳から大人」

<https://www.pref.yamagata.jp/021006/kurashi/shohi/18otona.html>

2022年4月1日から、成年年齢は18歳になり、「18歳から大人」です。

大人になると親の同意なく一人で契約ができるようになる反面、一度結んだ契約は簡単には取り消せなくなります。消費者トラブルに巻き込まれないよう、契約は慎重に行い、賢い消費者になりましょう。

◆消費者ホットライン「188」

おかしいなと思ったら、不安に感じたりしたときは、消費者ホットライン「188」にお電話ください。最寄りの消費生活相談窓口につながります。

◆消費生活出前講座【申込受付中】

最近の消費者トラブルの事例と対策を紹介する講座を無料で行っています。

講座の申込みはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/021006/kurashi/shohi/demaekouzatop.html>

写真キャプション 県消費生活センターキャラクターケロちゃん

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023-630-3237

山形県雇用調整助成金

(県単上乘せ) 対象期間の延長

新型コロナウイルス感染症の影響により、従業員の休業を余儀なくされた中小・小規模事業者に対し、事業主の負担を軽減し雇用維持を図るため、山形県雇用調整助成金(県単上乘せ)事業の対象休業期間を延長します。

◆支給対象 山形県内の事業所で雇用する労働者について、令和3年5月から令和4年3月を支給対象期間とする雇用調整助成金等の支給決定を受けた実績のある中小・小規模事業者

◆助成率 国の助成率が10分の9または5分の4の場合に対象経費の20分の1

<申請先>

山形県雇用調整助成金事業運営事務局

<住所>

〒998-0102

酒田市京田4丁目1番1号

(株式会社プレステージ・コアソリューション内)

<電話番号>

フリーダイヤル 0120-123-235

<受付時間>

平日午前9時から午後5時

問い合わせ 雇用・産業人材育成課 電話番号 023-630-2377

地域連携 ICカード cherica (チェリカ)

5月14日サービス開始!

県内の路線バス等で、ICカードによるキャッシュレス決済が一斉に始まります！整理券や現金が一切不要になり、機械にカードをタッチするだけで簡単に乗り降りができます。バスに乗ると交通ポイントが貯まるほか、電子マネーを利用した買い物などもできる多機能なカードとなっていますので、ぜひご利用ください。

◆対象バス路線

○山交バス株式会社、庄内交通株式会社が運行する路線（一部高速バス路線を除く）

○山形市コミュニティバス（ベニちゃんバス 東くるりん・西くるりん）

○米沢市民バス

○山形空港シャトル

チェリカ販売場所や定期券情報など、詳しくは山交バス株式会社または庄内交通株式会社のホームページをご覧ください。

山交バスホームページ

<https://www.yamakobus.jp/>

庄内交通ホームページ

https://www.shonaihotsu.jp/local_bus/shoko_cherica.html

問い合わせ 総合交通政策課 電話番号 023-630-2161

観光施設支援事業費助成金

誘客促進への新たな取組みを支援します

◆助成対象者 県内において宿泊施設または観光立寄施設を営む事業者

◆申請期限 9月30日（金曜日）

◆助成対象経費

○ワーケーション等に対応した改修や新商品開発等に係る経費

○非接触型システムの導入経費

○感染拡大防止対策経費

◆助成率・助成金の額 対象経費の4分の3（上限額56万2千円）または3分の2（上限額50万円）

山形県観光施設助成金コールセンター 電話番号 023-615-9966

詳しくはこちら

<https://yamagata-kanko-shien.jp/>

問い合わせ 観光復活戦略課 電話番号 023-630-3385

新型コロナウイルス 相談・受診の流れ

〈発熱やせきなどの「症状がある」場合〉

かかりつけ医療機関がある方は

診察券に書いてあるかかりつけ医療機関の電話番号へ

- ・ 受診前に、必ず電話で受診相談をお願いします。
- ・ 相談を受けた医療機関で対応できないときは、最寄りの対応医療機関をご案内します。

・発熱等の患者の診療や検査を行う「診療・検査医療機関」が診察します。

かかりつけ医療機関がない方は

・受診相談コールセンターへ電話相談

フリーダイヤル 0120-88-0006【24時間受付・土日祝日も含む】

・医療機関をご案内します

・発熱等の患者の診療や検査を行う「診療・検査医療機関」が診察します。

〈「症状がない」場合〉

・感染していないか心配

・予防方法を聞きたい 等

電話相談

一般相談コールセンター

フリーダイヤル 0120-56-7383【受付時間 午前8時30分から午後6時 土日祝日も含む】

厚生労働省の電話相談

フリーダイヤル 0120-56-5653【受付時間 午前9時から午後9時 土日祝日も含む】

山形県ワクチンコールセンター

フリーダイヤル 0120-56-7690

受付時間 午前8時30分から午後6時（土日祝日も含む）

聴覚や言語機能に障がいがある方については、以下の方法により受付しています。

ファクシミリ 023-625-4294（月曜日から金曜日（祝日除く）午前8時30分から午後5時15分）

〈16 ページ〉

タイトル **潜入レポート**

どうなってるの!?

やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）

東北最大級の客席数を誇る、やまぎん県民ホール。

あの大きな舞台にはどんな仕掛けがあるの？

地上約30mのタワー一部分に舞台のヒミツが？

やまぎん県民ホールは、山形県の文化芸術活動や多様な交流、魅力発信の拠点として、2020年5月に開館しました。メインの大ホールは、それまで県内で観ることができなかったオペラやバレエ、ミュージカル、人気アーティストの全国ツアーも上演できる、東北最大級の舞台規模です。

「スノコ」と呼ばれる舞台天井までの高さは27メートルもあり、舞台と客席を仕切る緞帳（高さ13メートル、幅22メートル、重さ1.3トン！）が、巻き取られたり折り畳まれることなく、そのままワイヤーで吊り上げられています。さらに、クラシックコンサートなどで、音の響きを良くするために設置される巨大な音響反射板もすべて舞台上部に納められています。立体駐車場

にも勘違いされる外観のタワー部分こそが、たくさんの秘密が詰まった大ホールの心臓部なのです。

写真キャプション1 「奈落」から見上げる舞台上部の全容

写真キャプション2 よく間違われるんですが…

ヒミツポイント

＜客席天井部分にスポットライトルームが！＞

客席最奥の上部には4台の大型スポットライトが設置され、30メートル先の舞台を照らします。

＜最前列の客席（4列分）が地下に沈んで消える!?!＞

舞台上の一部が下がる部分を「奈落」と言います。深さは4.65メートル、オペラやバレエの公演時には席が取り外され、オーケストラが演奏する場所になります。

＜万一の火災時の安全対策も万全！＞

舞台専用の消火用スプリンクラーは、210トン（25メートルプールの約半分）もの水を放水できる容量があります。

＜マンホールが災害用トイレに!?!＞

災害時、公共交通機関で帰宅できなくなった人を支援する防災拠点として、さまざまな設備や物品が備え付けられています。

やまぎん県民ホール舞台管理マネージャー

田辺 治郎（たなべじろう）さん

やまぎん県民ホールは、東北の舞台芸術・ショービジネス界を代表するスケールと設備を誇る施設です。このステージで多くの方に夢を見てもらいたいと思っています。期待してください！そして山形の魅力あふれるこの施設に、ぜひ足を運んでください。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和4年5月号 627号

奇数月1日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>